

EP03 REPORT

2025年度 東京消防庁 2次試験 面接の全貌。

塾生24名のリアル体験談。

会場の雰囲気、進行、実際に聞かれた質問、
合格者からのアドバイスを完全公開。

消防学校で、丸1日かけて行われる。

会場：東京消防庁 消防学校（5階講堂に集合）

進行：A・B・Cの3グループに分かれてローテーション

種目：面接 / 実技 / 身体検査

面接室：3階・4階の個室（合計20部屋ほど）

待機時間が長い。受験生は黙々と最終確認

丸1日拘束される試験。体力と集中力の配分がカギ。

L字部屋、面接官3人、距離は近い。

部屋はL字型が多い（ドアから面接官が見えない）

面接官は3名（正面に2人、横に1人の配置）

面接官の年齢は40～50代が中心

受験生との距離が非常に近い

個室なので隣の声は聞こえない、集中できる

距離が近いから、身だしなみ・所作が直接伝わる。

「圧迫」じゃなかった。でも油断は禁物。

事前イメージ

- ・ 厳しい圧迫面接
- ・ 冷たい雰囲気
- ・ 重苦しい質問攻め

実際の雰囲気

- ・ 和やか、笑いもあった
- ・ 「リラックスして話そう」と言われる
- ・ 説明会くらいのラフさ
- ・ ただし試験官1人が圧迫気味の場合も
- ・ アイスブレイクが上手で気が緩みやすい

ラフな空気でも、敬語と姿勢は絶対に崩さない。

細かい作法、ここまで決まっている。

- ① ノックは3回
- ② ドアを開けて「失礼します」
- ③ 貴重品は指定の椅子に置く
- ④ イスの横で「〇〇です。よろしくお願いします」
- ⑤ 終了時「ありがとうございました」と一礼
- ⑥ 退出時「失礼しました」は不要（注意書きあり）

知っていれば、入った瞬間に印象が決まる。

面接室の外でも、評価は始まっている。

- 電子機器の使用禁止（スマホは出せない）
- 私語禁止（昼食時も含む）。注意される人が実在
- 居眠りしている受験生もチェックされていた
- 勝手に持ち物を追加するなどの単独行動はNG
- 整列・移動はキビキビと、ガラガラ厳禁

「面接室に入る前」と「出た後」の振る舞いが合否を分ける。

ほぼ全員が、ここから入られた。

東京消防庁を志望した理由

消防官を目指したきっかけ

なぜ東京消防庁か（地元じゃダメな理由）

東京消防庁の魅力

消防ではない仕事でも防災に関われるが、なぜ消防か

「東京である理由」を3回聞かれた塾生も。深掘り対応が必須。

落とすためじゃない、確認のための質問。

- 集団生活への不安（消防学校・寮生活）
- 違反歴の有無と詳細（一時不停止など）
- 既往歴・アレルギー
- 他の併願先と、そちらに受かったらどうするか
- 東京消防庁が不合格だった場合の進路

正直に答える。盛らず、隠さず、エピソードで補強。

「あなた自身」がもっとも深掘りされる領域。

強み・弱み（具体的なエピソードまで）

友達や部活の後輩からどう思われているか

苦手なタイプとの関わり方

ストレス発散方法・趣味

リーダー経験 / チームでの立ち位置

挫折経験とその乗り越え方

「自分の引き出しの多さ」が、合否を分けた最大の要因。

ESに書いた経歴は、徹底的に深掘りされる。

大学で何を学んでいるか、その学びを消防にどう活かすか

部活でのポジション・役割・困難だったこと

アルバイトの内容・学んだこと

高校時代の活動（部活、役職）

資格・専攻を選んだ理由

高校時代のことも細かく聞かれた塾生あり。準備の射程は広く。

希望部署と東京消防庁の知識は、聞かれる前提で。

- 希望部隊（救助・救急・特別救助・予防課 など）
- なぜその部隊か、地元でもできるのでは？
- 部隊の違い（即応対処部隊とハイパーレスキューの違い等）
- 東京消防庁の管轄地域、職員数（1.8万人）、階級
- 希望部署に入れなかった場合の対応

「東京消防庁にしかないもの」を語れるかが差を生む。

「キャリアやり直し」の覚悟を問われる。

■ 現職の業務内容、年数、階級

■ なぜ転職するのか / 職場には相談したか

■ 給料が下がる可能性があるが大丈夫か

■ 現職で抜けた穴をどう考えるか

■ もう一度、初任教育からだけど大丈夫か

■ 家族の理解は得られているか

現職経験が「強み」として認められるかは、語り方次第。

事前準備じゃ防げない、その場の対応力テスト。

友達と約束、来なかったら何分待つ？

これまでの自分は何点？その20点はなぜ？

税金で大学に通ったがどう思う？（省庁大学卒）

SPIの怖い面はなんだと思う？

消防官の不祥事が消防の仕事に与える影響は？

パワーリフティングを実演してみて

「答え」より「答えに向かう思考プロセス」が見られている。

24人の塾生が、口を揃えて言ったこと。

- 練習通りやれば大丈夫。準備が8割。
- から元気でもいい、明るい表情で入室する
- ラフな雰囲気でも、敬語と姿勢は崩さない
- エピソードの引き出しを多く持つ（高校時代まで遡る）
- スマホは見られない。ノート・紙に最終確認メモを
- 体力試験は準備体操から見られている

「自信」は努力からしか生まれない。練習を信じる。